

## 網走市新庁舎建設に係る説明会 議事録

説明先：中園・昭和地区

開催日時：令和元年6月10日（月）18時00分～19時00分

説明会場：中園公会堂

出席者：14名

**Q1. 金市館ビル跡地は敷地面積が狭く、駐車場は現庁舎より狭くなるのではない  
か？自家用車での来庁者数はどの程度を想定しているか？10年後くらいの台数  
を想定しての判断なのか？他の敷地に駐車場を用意する考えなのか？広い敷地  
が適地ではないか？**

- 現段階で想定している駐車場部分は、現在らるあーと朝市等で使用している金市館ビル跡地周辺敷地で、現庁舎の駐車場部分と同等かそれ以上の台数を用意できると考えている。駐車台数の詳細はこれから算出するが、不自由はおかけしないだろうと考えている。現庁舎敷地は公用車駐車場として使用したい。また、バスなどの公共交通を利用して来庁する市民の利便性も考慮したものである。他の候補地では広い敷地の市有地もあるが、現在使用している建物の移転などに時間がかかり、国の支援を受けることができなくなる。

**Q2. 「D 経済性と実現性」の評価で、除雪センターの評価が×評価の理由は？**

- 除雪センターの移転先を決めるまでの時間や、場合によっては用地取得や建物の建設費といった庁舎の建設以外に費用が大きくなるためである。

**Q3. 国からの財政支援を受けることが1番大きな理由なのかと思うが、現在の支援  
制度は受けられなくなるとしても時間をかけて位置を決めることとしないの  
か？また、そういう理由があることで財政支援を受けられるように国と交渉して  
いるのか？**

- これまで、市町村役場の建設に対しては国の支援制度はなかったが、平成28年の熊本地震を受けて初めて支援制度ができた。しかし、当初、「2020年度までに建設したもの」が対象であり、以前から建て替え事業を進めていた自治体でなければ対象になることができなかった。そのため、全国の市町村長が国に要望した結果、「2020年度までに実施設計に着手したもの」として経過措置が出された。言い換えればそこがリミットであると認識しており、そこに間に合うように進めたい。

**Q4. 国の支援を受けたいために短い時間で狭い敷地を決定するというやり方が正しいのか？**

- 敷地として候補地の中で1番狭いが、新庁舎にどのような機能を持たせるのか、人口減少の中で必要な建物面積はどれくらいなのか、これからの議論になる。なお、

現庁舎と西庁舎の合計面積が約 7,000 m<sup>2</sup>あり、それは金市舘ビル跡地周辺敷地には建設可能な規模である。

**Q5. 避難所として活用することで補助金は出ないのか？**

- 補助金の2重交付は基本的にない。活用可能な補助金等は活用する。

**Q6. 海抜何メートルか？**

- 金市舘ビル跡地周辺敷地は5m、現本庁舎敷地は6mとなる。どちらの敷地も浸水想定区域外である。

**Q7. 津波のことを考えると高台地区が良いのでは？**

- 高台の方が、津波が発生した場合は安全だが、市としては、地方自治法や4つの視点から総合的に判断し、金市舘ビル跡地周辺敷地が適地であると判断した。

**Q8. 潮見団地は全部建物が建っているのか？**

- 平成 29 年度に 1 棟解体した。政策空き家として新規入居者の募集は行っていない状況で、今後移転建て替えを進めながら解体する予定である。

**Q9. 潮見団地の解体の費用は？**

- 相当の解体費用がかかる見込み。また、道路や埋設配管の撤去など建物解体以外の費用もかかる。